

TR-M2M-0024v2.0.0

oneM2M 技術レポート –3GPP リリース 13 とのインターワークー

oneM2M Technical Report –3GPP_Rel13_IWK–

サマリ（和文）：

アブストラクト：

本文書は、TS 23.682 V13.2.0 で定義されているサービス・ケイパビリティ・エクスポージャーに関する 3GPP Rel-13 アーキテクチャと oneM2M アーキテクチャとの間のインターワーキングについて検討したものである。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本文書は、TS 23.682 のリリース 13 版で定義されているサービス・ケイパビリティ・エクスポージャーに関する 3GPP Rel-13 アーキテクチャと oneM2M アーキテクチャとの間のインターワーキングについて検討したものである。主要な目的と価値が分析され記述されている。また本文書では、既存の技術的解決策を評価することで、oneM2M における解決策の候補についても調査している。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 3GPP サービス・ケイパビリティ・エクスポージャーの概要

oneM2M の下位伝送網に関わる要件、3GPP Release 13 MTC features、3GPP サービス・ケイパビリティ・エクスポージャー、OMA API プログラム等について。

6 章 参照アーキテクチャ

oneM2M IN-CSE と下位伝送網との参照点について、網内部に直接アクセスするケースと OMA API を通してアクセスするケースが考えられることを分析している。

7 章 oneM2M とのインターワーキングに関して考えられる影響

oneM2M における NSSE、CMDH などの各 CSF が、3GPP TS 23.682 で定義されている種々の機能をサポートし得るかどうかについて分析している。

8 章 oneM2M とのインターワーキングを実現する解決策の候補

3GPP TS 23.682 で定義されている機能ごとに、oneM2M IN-CSE とのインターワーキングの仕組み（動作シーケンス等）を検討している。

サマリ（英文）：

Abstract:

The document is a study of interworking between oneM2M Architecture and 3GPP Rel-13 architecture for Service Capability Exposure as defined in TS 23.682 V13.2.0.

Scope:

The present document is a study of interworking between oneM2M Architecture and 3GPP Rel-13 architecture for Service Capability Exposure as defined in the release 13 version of 3GPP TS 23.682. The key objective and value is analyzed and described. The document also investigates the potential solution in oneM2M by evaluating the existing technical solutions.